

57 沖縄空手会館展示施設を中心とした文化観光拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者)：沖縄県

文化観光推進事業者：(一社)沖縄伝統空手道振興会、(一財)

沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄空手振興ビジョン推進パートナーズ、おきなわ工芸の杜共同企業体、沖縄JTB(株)

計画期間

2024年度～2028年度（5年間）

目標

- 展示施設入館者数(有料施設)
2019年度 11千人→2028年度 20千人 (1.8倍)
※10年後(2033年度)には 33千人 (3倍)
- 展示施設外国人入館者数(有料施設)
2019年度 3千人→2028年度 5千人 (1.7倍)
※10年後(2033年度)には 8千人 (2.7倍)
- 展示資料の満足度
2023年度 67.7%→2028年度 73% (+5.3%)
- レストラン・ショップの売上げ
2023年度 21百万円→2028年度 29百万円 (+8百万円)
- 体験プログラムの参加者(年間)
2023年度 538人→2028年度 1,200人 (2.2倍)

文化観光拠点施設機能強化事業

<1.文化資源の魅力の増進>

- 常設展示ストーリーづくり事業等

<2.文化についての理解促進>

- 沖縄空手展示解説多言語化事業等

<3.文化観光に関する利便の増進>

- 展示施設巡回バス運行事業等

<4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

- レストラン・ミュージアムショップ商品開発事業等

<5.国内外への宣伝>

- 展示施設広報強化事業等

<6.施設又は設備の整備>

- 常設展示パネル設置工事事業等

文化観光推進事業費（5年間の計画ベース）

237百万円（うち、文化観光推進事業補助金156百万円）

計画区域

